建築物等の名称 ：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 検査日 ：　　　　　　年　　　月　　　日

製造番号 ：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 昇降機等検査員　第　　　　　　　　　　　　　号 氏 名 ：

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 検査項目 | 検査事項 | 検査方法 | 判定基準 | 測定値・確認記録 | 結果 |
| UCMP盤 | 型　　　　　　式 | 目視により確認する。 | 制御盤の扉に取付けられた銘板の型式が、大臣認定を受けたものと異なること。　制御盤型式 ： WB-T5 |  | 良 ・ 否 |
| 待機型逆止弁 | 型　　　　　　式 | 目視により確認する。 | 型式が、大臣認定を受けたものと異なること。　待機型逆止弁型式 ： EL1-50 |  | 良 ・ 否 |
| 油漏れの状況 | 目視により確認する。 | 油が漏れていること。 |  | 良 ・ 否 |
| 健全性の監視 | 待機型逆止弁の励磁電源用ｺﾝﾀｸﾀを手動でオフした後通常制御弁を開放する。 | エレベーターが停止しないこと。 |  | 良 ・ 否 |
| Ｏリングの劣化の状況（摺動部） | カウンタ値の読取又は設置時からの経年を確認する。 | 動作回数が５０万回を越えていること又は設置後５年を経過していること。（注） | カウンタ値　　：設置後年数　： | 良 ・ 否 |
| ソレノイド弁の劣化の状況 | カウンタ値の読取 | 動作回数が１００万回を越えていること。（注） | カウンタ値　　： | 良 ・ 否 |
| ソレノイドコイルの劣化の状況 | 設置時からの合計通電時間を確認する。 | 合計通電時間が２０，０００時間を経過していること。（注） | 合計通電時間 ： | 良 ・ 否 |
| 特定距離感知装置 | 作動の状況 | 動作位置を測定する。 | 着床位置から±75ｍｍの位置で動作しないこと。 |  | 良 ・ 否 |
| 健全性の監視の状況 | 検出装置を作動させ確認する。 | 警報装置が作動しないこと。 |  | 良 ・ 否 |
| 劣化の状況 | 設置時からの経年を確認する。 | 設置後２５年を経過していること。（注） | 設置後年数 ： | 良 ・ 否 |
| 検査項目 | 検査事項 | 検査方法 | 判定基準 | 測定値・確認記録 | 結果 |
| 安全制御プログラム | 型　　　　　　式 | 安全制御プログラムの型式を確認する。 | 基板等に記載された型式が、大臣認定を受けたものと異なること。型式 ： HYD-SC-PLC |  | 良 ・ 否 |
| 電磁接触器（主回路、デルタ用、待機型逆止弁等用） | 劣化の状況 | カウンタ値の読取又は設置時からの経年を確認する。 | 起動回数が２００（１００）万回を越えていること又は設置後１０年を経過していること。（注） | カウンタ値　　：設置後年数　： | 良 ・ 否 |
| 電磁接触器（スター用） | 劣化の状況 | カウンタ値の読取又は設置時からの経年を確認する。 | 起動回数が５０万回を越えていること又は設置後１０年を経過していること。（注） | カウンタ値　　：設置後年数　： | 良 ・ 否 |
| かご戸スイッチ | スイッチの全閉位置からの距離 | メジャー等により測定する。 | 規定値を越えていること。（横引戸）ドア全閉　20　mm（上げ戸）ドア全閉　25　mm | 測定値 ：  | 良 ・ 否 |
| 各階乗場戸スイッチ | 戸閉時フックのかかり代 | メジャー等により測定する。 | 規定値未満であること。（横引戸）　7　ｍｍ（上げ戸）　7　ｍｍ | 測定値 ：  | 良 ・ 否 |
| 全開感知スイッチ（上げ戸） | 作動の確認 | 目視により確認する。 | 全開を感知しないこと。 |  | 良 ・ 否 |
| かごのつま先保護板（エプロン） | 取付けの状況 | 目視により確認する。 | 次のいずれかに該当すること。・取付けが堅固でないこと。・著しい変形、破損、錆、腐食があること。 |  | 良 ・ 否 |
| 長　　　　　　さ | メジャー等により測定する。 | 規定値未満であること。　乗用・人荷・寝台 ： 750mm 　荷物用 ： 190mm | 測定値 ：  | 良 ・ 否 |
| 検査項目 | 検査事項 | 検査方法 | 判定基準 | 測定値・確認記録 | 結果 |
| システムの機能検査 | 作動の確認 | 戸開き状態で、床位置停止中（無負荷）に非常下降弁を開き、特定距離感知装置により、かごを制止させたときの床位置からの制止距離をメジャー等により測定する。 | 次のいずれかに該当すること。・特定距離感知装置が感知しないこと。・制止しないこと。・制止距離の年次変化量が著しいこと。（測定した制止距離を検査成績表の特記事項欄に記入する。） |  | 良 ・ 否 |
| 上記戸開走行保護装置が作動した時、電動機電源及び待機型逆止弁の励磁コイルが遮断したことを確認する。 | 電動機電源及び待機型逆止弁の励磁コイルが遮断しないこと。 |  | 良 ・ 否 |
| そ　の　他 | 乗り場戸付近及びかご内の表示板（座面高さ規制） | 目視により確認する。 | 次のいずれかに該当すること。・表示板がないこと。・表示板の文字が判読できないこと。 |  | 良 ・ 否 |

（注）交換基準は推奨値・目安であり、故障した場合又は限界磨耗に達した時点で交換する。